

サイエンスカフェ in 静岡

申込不要
参加無料

第41シーズン



サイエンスの
最前線を分かりやすく
お話しします。

お気軽にお越しください。

※イラストはイメージです

第188話

10月
16日(木)

抽象発展方程式について

理学部数学科 松本 敏隆



現象を記述する数値モデルとして偏微分方程式がよく用いられています。個々の偏微分方程式を無限次元空間における常微分方程式と見なして抽象化することで統一的な取り扱いが可能となります。この講演では抽象的な微分方程式の研究の一端を紹介します。

$$\begin{cases} \frac{du}{dt}(t) = Au(t) + F(t)u(t) \\ Lu(t) = B(t)u(t) \end{cases}$$

第190話

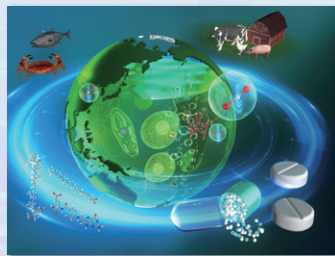
12月
18日(木)

微細藻類を利用する
廃水処理システムの開発

農学部応用生命科学科 長尾 遼



私たちの生活において、廃水処理は欠かすことのできないインフラです。必ず発生する廃水を資源として再利用することは、持続可能な社会に向けた重要な課題です。本講演では、微細藻類を活用した廃水処理技術の開発について紹介します。



第187話

9月
25日(木)

磁力・磁石の『量子』を解き明かす
—実演レクチャー—

理学部物理学科 清水 康弘



磁石は現代社会に不可欠な存在です。その原理について、実演を交えながら、ミクロな世界を司る量子論で解説します。極限まで小さな磁気検出によって、エキゾチックな素粒子や宇宙空間の暗黒物質を探る最先端の科学について紹介します。

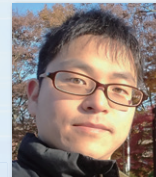


第189話

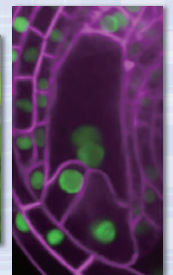
11月
20日(木)

植物のいのちをつなぐ仕組み
～重複受精と細胞のはたらき～

理学部生物科学科 須崎 大地



植物の花の中では、種子をつくるために「重複受精」という独特な現象が起きます。動物とは異なるこの仕組みと、それを支える細胞たちのはたらきについてご紹介します。



第191話

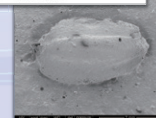
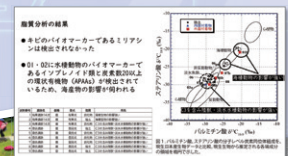
1月
22日(木)

登呂遺跡の実験と科学

人文社会科学部・
登呂農耕文化研究所 篠原 和大



登呂遺跡は平成の再発掘調査を経て2000年頃の姿が再現されています。その実物大の復元水田を使って挑戦している実験考古学の成果と最新の自然科学分析が明らかにしている登呂の生活や環境について紹介します。

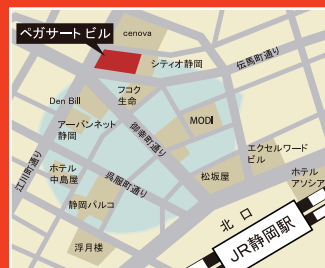


場所／B-nest 静岡市産学交流センター

ペガサート6階プレゼンテーションルーム
静岡市葵区御幸町3-21 <https://www.b-nest.jp>

時間／18:00～19:30 (開場17:30)

定員150名(先着順) ※情勢により変更することがあります。
また満席に達した場合、ご入場いただけません。



主催／静岡大学理学部

【お問い合わせ】理学部総務係

TEL:054-238-3080

【平日9:30～15:30】

HP: <https://www.sci.shizuoka.ac.jp/science-cafe>

X(旧Twitter):@SciCafeShizu34

サイエンスカフェin静岡 検索

